

令和2年度 第1回岡崎市図書館協議会議事録

- 1 日時 令和2年8月11日(火) 午前10時開始、午前11時45分終了
- 2 場所 図書館交流プラザ(りぶら)
1階 会議室101
- 3 出席者
 - (1) 出席委員 柴田委員、大西委員、平岩委員、鈴木委員、江良委員
山田委員、浦部委員、荻野委員、加藤委員
 - (2) 傍聴者 なし
 - (3) 説明のため出席した事務局職員
手嶋社会文化部長、三宅中央図書館長、鈴木副館長、
鈴木総務係長、天野資料提供サービス係長、
上川畑情報サービス係長、河合主査、大原主事
- 4 次第
 - (1) 社会文化部長あいさつ
手嶋社会文化部長あいさつ
 - (2) 委員紹介
各委員自己紹介による
 - (3) 会長及び副会長選出
会長：柴田委員、副会長：大西委員を互選
 - (4) 会長あいさつ
柴田会長あいさつ
 - (5) 議事
 - ア 令和元年度事業報告
 - イ 令和2年度事業計画
 - ウ 報告事項

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の対応
- ・その他

(6) その他事務連絡

5 報告及び議事の要旨

(1) 令和元年度事業報告
事務局から説明

(議長)

- ・事業報告について、何か質問などあれば発言いただきたい。

(委員)

- ・授業支援用資料提供の説明で、同時期に学校から要請があって、申込数若しくは貸出冊数が多くなってしまおうと思うが、貸出しに支障等はないか。
- ・事前に学校と協議して、貸出時期を少しずつずらすなど対応すれば、より多くの学校が活用できると思うので、検討してもらいたい。

(事務局)

- ・授業支援用資料では、要望の多いテーマは複数セットをあらかじめ準備するなど配慮している。しかし、御指摘のように時期が重なり、先着順となって、要望に十分に答えられないときもある。また、セットの用意のないテーマについても要望があれば、できるだけテーマに沿った資料を探して要望に応える努力をしている。

(委員)

- ・学校としても、テーマ別にセットした資料を用意してもらうことはありがたい。教科書で学んだ時期にそこから発展して、様々な本を読むことは、とてもいい勉強となっている。市内の学校にはかなり浸透してきていることもあり、どうしても同じ時期に要望が重なることがある。学校側としてもうまく時期をずらすなどして、活用できるようにしていきたい。

(委員)

- ・中央図書館の現在の蔵書冊数は、収容可能冊数の80パーセント程度占めていると思うが、今後増えていく蔵書についてどのように対応する予定か。
- ・郵送貸出の要件の一つに、介護保険者証の要介護度5と認定を受けていることとあったが、実際の需要はどのくらいあるのか。また今後この要件を緩和して要介護度の低いかたにも対象を拡大する考えはあるか。

(事務局)

- ・蔵書は、日々除籍を行っている。除籍作業では、まず開架の棚から利用頻度の低い資料及び古い資料を識別して除架した後、自動化書庫に保管するかどうかを仕分けする。自動化書庫の蔵書も利用頻度をリストアップして仕分けし、頻度の低いものから除籍している。
- ・要介護度5の方から郵送貸出の利用実績はない。現在は既存の制度のもとでの対応であり、利用の緩和を行うには図書館独自の郵送宅配サービスを検討する必要があるが、今のところそのような検討は行っていない。

(委員)

- ・蔵書冊数は除籍を行っても数年後、収容可能冊数の8割を超えることは考えられる。今後対応を検討することは必要だと思う。
- ・要介護度5のかたは介護なしでの生活が困難で、意思の疎通も難しい場合が多く、郵送貸出の制度を利用するには難しいと思う。多くのかたに図書館を利用してもらうためには、条件の緩和は必要だと感じる。

(委員)

- ・デジタル資料について現在の対応を知りたい。

(事務局)

- ・現在デジタル書籍は導入していない。しかし、古い地域資料はデジタルアーカイブとして、デジタル化したものをホームページで公開している。
デジタル書籍は、新型コロナウイルスの影響もあって、有効なものとして認識しており、今後検討していくべきと考えている。

(2) 令和2年度事業計画
事務局から説明

(議長)

- ・事業計画について、何か質問などあれば発言いただきたい。

(委員)

- ・子ども図書室には布絵本があるが、市販のものが中心なのか。中にはボランティア団体が手作りしたものを置いてあるのか。
- ・「ステイホーム」が求められている中で、布絵本を製作したいという市民のニーズがあると思うが、こうしたニーズに対して作り方を図書館でお知らせするなどしたら良いかと思う。

(事務局)

・布絵本は市販品も所蔵しているが、その多くは図書館支援団体であるりぶらサポータークラブからの寄贈である。この団体の活動の1つに、布絵本製作ボランティアがあり、その活動の中で制作したものを寄贈していただいている。

(委員)

- ・学校で教員の研修として本の修理やカバーの巻き方等の講習を行ってほしいがどこに相談したらよいか。
- ・各市民センターでは、どのように図書資料の入替え作業を行っているか。

(事務局)

- ・夏休み期間に先生がたの10年目研修等を図書館で受入れているが、その内容として図書館業務を伝えるためのカリキュラムを組んでいる。具体的には、カウンター業務、本を書架へ戻す業務などの体験を通じて、図書館の利用方法を再度認識してもらい、学校で児童生徒に説明してもらえるような内容としている。本の修理やカバーの巻き方等の講習は、現在は組んでいないが、要望があれば取り入れる。ただ、本の修理は長時間の講習になると、教えられる職員に限られるなどの課題がある。以前、学校図書館の分科会の中で、本の修理の講座を図書館職員が行ったことがあったので、機会があれば協力していきたい。
- ・各市民センターの蔵書は中央図書館の職員が選定し購入を行い、古い本の除架をして入れ替えている。げんき館については、施設の性質が異なり、施設管理者が蔵書管理を行っていて中央図書館は行っていない。

(委員)

- ・幼稚園でも絵本などの貸出をしているが、コロナ禍で利用する家庭と利用しない家庭がはっきり分かれてしまった。このような時においても今回の報告で図書館は業務にしっかり取り組んでいることは分かった。しかし、色々な計画が、保護者などに広く伝わっているようには感じられない。
- ・デジタル機器の普及で、多くの家庭で映像やゲームによる刺激を受けることがかなり増えている。コロナ禍で幼児の生活にも広く、深く浸透し始めていることを感じる。本当は本や書籍にもっとふれさせて紙をめくるとか、何かを触ったり探したりすることを幼児期にはやらせたい。図書館がその役割を果たしていることはやはり大事なことであると思う。
- ・図書館からのお知らせやチラシなど、本への意識のあるなしで手に取る人の差が非常にあると思う。どうやって広く知らせていくのか検討した方が良いと思う。

・これからはコロナを各個人がどんな風に向き合っていくかを考えたりどこで学んだりするのか、ということを考えるときに図書館の事業の中にヒントがあると思うが、どうやって多くの人に伝えていくのが課題だと思う。

(委員)

・デジタル機器を小さな子どものころから与えてしまうのは良くないと思っていて、個人的に「スマホ依存症防止」という活動に参加している。感染症の話は別としても、小さな頃に布の絵本も含め本に触る、なめるとか、こういった体験は非常に大きな意味があると思う。本を読む習慣、本に親しむ習慣を小さい時からつけた方が良くと思うので、その辺を図書館でアピールしてはどうかと思っている。

(事務局)

・0歳児に絵本を読み聞かせ、1冊をプレゼントするブックスタートという子育て支援の事業がある。小さな頃から絵本にふれる機会として有効な事業であると考え、今後も継続していきたい。情報発信についてはツイッターなどを使っているが、委員からも発信方法についてご意見等いただければありがたい。

(委員)

・最近図書館の良さに改めて気が付いた。先日、籠田公園でリサイクル図書の販売を行う催しがあり見学した。その収益が大活字本の寄贈に繋がっていると知り嬉しく思う。このような取り組みは継続してほしい。
・読み聞かせなどの活動を親子が集う外部に出向き行えば、図書館利用のきっかけに繋がると思う。
・収集に力を入れている「郷土コレクション」を紹介する催しを日常的に行うことにより、その活用促進をはかって欲しい。

(委員)

・コロナ禍でもあり大きなイベントを図書館内で行うのは難しいし、実際に中止になっているものが多いと思う。今後は、小規模で構わないので図書館の外へ出向いてイベント等を行うことで、小さな積み重ねにはなるが図書館の存在を知ってもらえるのではないかなと思う。

(議長)

・臨時休館中は貸出業務を一切行わなかったのか、確認したい。

(事務局)

・再開の目途がたった際、開館予定日の前の数日間、臨時窓口を設置して

予約資料の貸出のみ行った。

(議長)

・「ステイホーム」が呼びかけられた中、本の購入冊数が増えたと報道されていた。家庭で過ごす時間、本を読むことに使った人が多いと感じた。難しい部分もあると思うが休館期間中、貸出業務のみでも行えば来館したいと考える利用者がいたのではと感じた。

・来年度以降もイベント等が中止になる可能性が高いことも予想されるが、その中で具体的にこういった方向で開催するというようなことが決まっているか、決まっているようであれば知りたい。

(事務局)

・まだ具体的な予定は特になく検討中である。

(議長)

・休館中でも密を避け貸出業務を行えば、ステイホームにマッチした図書館の活用を行うことができるのではないかと思う。

(委員)

・3月の臨時休館と4月からの臨時休館の対応で違いがあれば知りたい。

・臨時休館中のインターネットや電話による予約の受付、レファレンスの対応を行ったか聞きたい。

(事務局)

・3月はインターネット及び電話による貸出資料の予約受付を行ったが、4月は行っていない。これは、3月に受付けた貸出資料の受渡しが終わらないまま4月に再度臨時休館になり、貸出資料の予約受付を継続した場合、再開後に予約本の受取で多くの利用者で混雑することが予想されたためである。

・電話によるレファレンス業務は、3月から4月以降も継続して行っていた。

(委員)

・休館期間中、利用者への電話やインターネットによるレファレンスが利用できるとのアピールが弱かったと思う。

・4月以降は県内の多くの図書館でインターネットの予約受付を行っていたので、もし今後臨時休館になることがあった際は、検討してはどうかと思う。

(委員)

- ・自分が何を読み、子どもに何を読んだらいいか分からない方もいるため、そのような方へ働きかけをすることは大事だと思う。
- ・不安な状況を乗り越えるため、利用者は好きな本を読み、本から知識を学ぼうとすると思う。知識を持った方、持っていない方をつなぐことは図書館の役割だと思うので取り組んでほしい。

(3) 報告事項

ア 新型コロナウイルス感染拡大防止の対応

イ 岡崎南ロータリークラブから大隅文庫充実のための寄附について
事務局から説明

(議長)

- ・報告事項について、何か質問などあれば発言いただきたい。

(委員)

- ・市内児童クラブへの図書配送は普段も行っているのか、資料のセット内容を知りたい。

(事務局)

- ・普段は行っていない事業である。休校に伴い児童クラブ利用者が増えたため特例で実施した。普段は小学校に読み物中心のセットを配送しており、それを活用して児童育成センター等へ配送を行った。

(議長)

- ・その他、何か事務局からあれば連絡してほしい。

(事務局)

- ・美術博物館等からイベントのお知らせがあり、チラシ等配布したので、ぜひ足を運んでいただきたい。

(議長)

- ・その他質問などはよろしいか。(なし)
これで議事は全て終了である。

令和2年度事業計画

重点取組事業

取組事業	内 容
図書館閲覧席の事前予約制度の導入	高校生のテスト期間における館内閲覧席の利用に際し、あいち電子申請システムを活用して、事前予約ができるようにする。
生涯学習推進計画策定にあわせ図書館運営方針(案)を作成	市民アンケート等を行い、図書館の運営基本方針を見直し、生涯学習推進計画に盛り込む。
窓口業務委託に係る受託者の選定	契約期間が終了するため、改めて業務委託を行うにあたり、プロポーザル方式により業者選定を行う。
読書通帳利用対象者の拡大	現在、読書通帳を利用できるのは、市内在住在学の中中学生以下に限っているが、利用制限を撤廃し利用者を拡大する。
庁内関係部署や団体との連携事業実施	他部署と連携したテーマ展示やイベント、講座などを年に2～3回企画し、図書館の認知度を高める。
多様な図書館サービスの周知	子ども図書室に「りんごの棚」(バリアフリー資料コーナー)を今年度中に開設。点字付き絵本、録音図書、布の絵本、LLブックなどを集約し利用促進を図る。
自主財源確保のための取組	除籍したりサイクル図書を、市民団体と協力して「リサイクル本バザー」として販売し、売上げから大活字本などを購入して図書館に還元する試み。
ビジネス支援サービスの推進	岡崎ビジネスサポートセンターと連携したビジネスセミナー及びビジネス相談会の開催、ビジネスをテーマとしたパスファインダーの作成など、ビジネス支援サービスの充実を図る。

「りんごの棚」とはスウェーデンで生まれた特別なニーズがある子どもたちのためのコーナー

講座事業

事業名	実施時期	講 座 内 容
【中止】 ストーリーテリングにおいてよ！ボランティア養成講座	5～6月 (3回)	絵本を使わずおはなしを語るストーリーテリングについて、実践する上での基本的な事項について学ぶ。
【中止】 子ども Wikipedia タウン(仮称)	6～7月 (2回)	小学校の高学年から中学生を対象としたWikipediaを利用した調べ学習支援
法律セミナー・データベース「D1-Law.Com」利用講座	2/6	弁護士による法律の解説と、データベース「D1-Law.Com」の使い方説明会
【中止】 ブックスタートボランティア養成講座	11～12月 (3回)	ブックスタートボランティアとして活動するための基本的な事項について学ぶ。
読み聞かせボランティア養成講座	11～12月 (5回)	中央図書館子ども図書室でのおはなし会を行う上で必要となる読み聞かせの基本的な事項について学ぶ。

ビジネス支援事業

事業名	実施時期	講座内容
ビジネスセミナー	11/30 2/25	岡崎ビジネスサポートセンターと共催してビジネス関連のセミナーを開催

テーマ展示

事業名	実施時期	内容
2階テーマ展示	年8回	季節やくらしの関心事などに応じたテーマを選定、関連資料を集め、ポピュラーライブラリーテーマ本コーナーで展示・貸出 年2～3回、関係部署や団体と連携した企画イベント特別展示を計画
ミニテーマ展示	随時	
企画イベント展示	随時	
ティーンズコーナーテーマ展示	年10回	季節やイベント、ティーンズの興味に合わせてテーマを選定、関連資料を集め、ティーンズコーナーで展示・貸出
子ども図書室テーマ展示	年8回	季節や行事に応じたテーマを選定、子ども図書室の資料から関連資料を集め、子ども図書室テーマ展示コーナーで展示・貸出
ビジネステーマ展示	年6回	ビジネスコーナーのテーマを選定、関連資料を集め、レファレンスライブラリーのビジネスコーナーで展示・貸出
高札展示	毎月	レファレンスライブラリー資料から選定、レファレンスライブラリーの高札コーナーで展示・貸出
1階展示	毎月	問題提起をテーマとし、レファレンスライブラリー資料から選定、レファレンスライブラリーの1階展示コーナーで展示・貸出
ガラスケース展示	年6回	レファレンスライブラリーのガラスケースコーナーで郷土資料を展示

読み聞かせ

事業名	実施時期	内 容	その他
赤ちゃんからの読み聞かせ	毎週火・木	赤ちゃんを対象としたボランティアによる読み聞かせ	中央図書館
3さいからの読み聞かせ	毎週土	ボランティアによる読み聞かせ	中央図書館
おはなしと紙しばいの会	毎週月・木	職員による読み聞かせ	中央図書館
ストーリーテリングにおいでよ!	毎月第4土	ボランティアによるストーリーテリング(絵本を使わずにお話を語る)のおはなし会	中央図書館
外国語の読み聞かせ	土(月1回)	英語、ポルトガル語、中国語のローテーションでボランティアにより実施	中央図書館
手話と声のクリスマスおはなし会	12月	ネイティブサイナー(ろう者)と職員によるおはなし会	中央図書館
【学校と協議中】 特別支援学校におけるおはなし会	6月、10月、2月	「おひさまにこにこの会」ボランティアと協働で、愛知県立岡崎特別支援学校で読み聞かせを実施	県立岡崎特別支援学校
0・1・2おはなし会	毎月第3木	額田図書館職員による読み聞かせ	額田図書館
絵本のおはなし会	毎月第2土	額田図書館職員による読み聞かせ	額田図書館
おはなしの森 コロボックルおはなし会	毎週火	ボランティアによる読み聞かせ	南部市民センター図書室
お話と紙しばいの会	毎週日	南部市民センター職員による読み聞かせ	南部市民センター図書室
おはなし・グーチョキパー おはなし会	毎月第1・3金	ボランティアによる読み聞かせ	東部市民センター図書室
六ツ美おはなしの会 おはなし会	毎月第1土	ボランティアによる読み聞かせ	六ツ美市民センター図書室
おはなしポケットやはぎ おはなし会	毎月第1・3土	ボランティアによる読み聞かせ	矢作市民センター図書室
とんとんひろば おはなし会	毎月第2金	ボランティアによる読み聞かせ	矢作市民センター図書室
お話しの会おひさまパン おはなし会	毎月第3火・4土	ボランティアによる読み聞かせ	岩津市民センター図書室
おはなし・ほたる おはなし会	毎月第1・3木	ボランティアによる読み聞かせ	大平市民センター図書室
おはなしあっぷっぷ おはなし会	毎月第4金	ボランティアによる読み聞かせ	げんき館情報ライブラリー

令和2年3月から当面の間休止中

ブックスタート事業

事業名	内 容
ブックスタート	生後4か月から1歳6か月未満の赤ちゃんとその保護者に対して、一組ずつに読み聞かせと絵本のプレゼントを行う。 <時期> 1歳6か月健康診査会場（岡崎げんき館）…火・水・金曜日 中央図書館 子ども図書室おはなしのへや …月・木曜日他 額田図書館 …偶数月第一木曜日 南部市民センター図書室 …奇数月第一木曜日

1歳6か月健康診査：令和2年3～5月中止、中央図書館：臨時休館中は中止、額田図書館：4、6月中止、南部市民センター：5月中止
ブックスタート再開後、読み聞かせを省略し簡単な説明と絵本の手渡しのみで実施

イベント事業

事業名	実施時期	内 容
【中止】 子ども読書の日記念イベント	4/18 ～4/26	子ども一日図書館司書体験（2日） ころころくまさんおはなし会「絵本でスポーツ」、おはなし会「春のおはなし会」、ストーリーテリングにおいてよ！「春のおはなし会」
【一部中止】 子ども図書室夏休みイベント	7、8月	第23回「図書館を使った調べる学習コンクール」入賞作品展 夏休み読書チャレンジ（実施期間変更検討）
【中止】 図書館まつり	8月	読み聞かせ、パネル展示、ぬいぐるみおとまり会、朗読会、ふるさとかるた、ティーンズビブリオバトル、図書館クイズラリー等
くすのきしげのり講演会	8月8日	図書館まつりとして実施予定だったが単独で開催。 正文館書店共催事業
家康公秋祭り	11月	図書館PR ブース出展
【中止】 りぶらまつり 2020	11月	図書館バックヤードツアー等
【イベント変更予定】 ティーンズビブリオバトル	10～11月 ごろ	（ティーンズ対象イベント検討） 中高生対象のビブリオバトル
子ども図書室冬休みイベント	12月	クリスマスのおはなし会、ストーリーテリングにおいてよ！「冬のおはなし会」
図書館福袋イベント	1月	中身が見えないように本を包み、貸出す
図書館マナーアップキャンペーン	年1回	図書館利用者のモラルの向上を図る目的で、汚損や破損により廃棄本となった図書を館内で展示
【4、5、6、8月中止】 シネマ・ド・りぶら開催支援	年9回	図書館所蔵資料を活用した映画上映と関連資料の展示 りぶらサポータークラブ共催事業

岡崎むかし館管理運営事業

事業名	実施時期	内 容
【中止】 夏休み子どもイベント「むかし館クイズラリー」と社会科自由研究相談	7月	昔のくらしや昔の岡崎に関するクイズラリーと社会科教諭による社会科自由研究の相談会
【中止】 社会科研究作品展	9/26～10/6	夏休み社会科自由研究優秀作品の展示
【4、8月中止】 むかし館季節の読み聞かせ	年6回	図書館職員による絵本等の読み聞かせ
【上半期中止】 むかし館イキイキ講座	月1回 第3金曜	図書館職員と参加者による音読会
【上半期中止】 体験講座「触れてみよう、遊んでみよう、むかしの道具」	月1回 第3日曜	けん玉、お手玉など、懐かしい遊びに挑戦
【今年度中止】 むかし館で楽しむ「むかしばなし・紙芝居」	月1回 第4木曜	「岡崎むかし語りの会」によるむかしばなしと紙芝居
むかし館見学	随時	小学生のむかし館見学
むかし館企画展示	年5回	「昭和を駆け抜けた名鉄電車たち」開催中
企画展記念イベント「鉄道模型走行会」	7/11、7/12	企画展協力団体による鉄道模型の走行見学会

その他図書館事業

事業名	実施時期	内 容
図書館見学	随時	小学生の図書館見学
職場体験		中学生の職場体験受入
教員研修	夏休み期間	新任者及び採用10年目の教員研修受入
図書館実習		司書講習における図書館実習生受入
蔵書点検	1月	特別整理期間中に中央図書館資料の蔵書点検の実施
地域図書室の蔵書点検	実施済	年3か所程度実施 (令和2年3月の臨時休館中に 額田、南部、矢作、中央を前倒して実施)

新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応について

1 臨時休館

- (1) 令和2年3月7日(土)から3月31日(火)まで

【経緯】

- 3月3日 三河地域での感染者発生
- 3月11日 市内で感染者発生
- 3月12日 市対策本部会議 公共施設は3月31日まで原則休館
- 3月26日 市対策本部会議
会話が想定されない美術館や図書館等の施設は再開

- (2) 令和2年4月11日(土)から5月24日(日)まで

額田図書館、地域図書室は5月31日(日)まで

【経緯】

- 4月10日 愛知県緊急事態宣言発出
市対策本部発表 対象期間：4月11日～5月6日
外出機会の提供に繋がる行政サービス休止、公共施設は原則休館
- 4月27日 市公共施設の休館について5月31日まで延長を発表
- 5月15日 愛知県緊急事態措置の変更
図書館：休業要請緩和、徹底した感染防止対策協力要請施設に該当
- 5月26日 愛知県緊急事態宣言解除

2 休館に伴う業務

- (1) 休館前、再開前業務

- ・休館・開館についての周知
- ・取り置き済み予約資料のある利用者への個別連絡
- ・予約資料受渡臨時窓口対応(中央図書館3月30～31日、5月22～24日)

- (2) 休館中業務

- ・インターネット、電話による予約資料、レファレンス、郵送複写依頼受付
- ・返却本受付(返却ポスト、市民センター窓口)
- ・市内児童クラブへの図書配送(児童育成センター48施設、民間児童クラブ11施設、総貸出冊数：11,050冊)
- ・除架、書架整備作業
- ・蔵書点検(額田図書館、南部・矢作・中央市民センター図書室)
- ・返却図書、備品類の拭き取り消毒作業
- ・おすすめ本ポップ、子ども向け本の福袋作成(開館後の短時間利用対策)
- ・感染防止のための施設整備(備品の移動、動線確保等)

3 感染防止対策

- (1) マスク着用、手洗い、咳エチケットなどの啓発用掲示物設置
- (2) 手指消毒液設置
- (3) カウンターに飛沫防止シート設置
- (4) 入口、出口の分離、列に並ぶ際の目印線設置
- (5) 共用機器や備品の定期的消毒
- (6) 閲覧席・研究個室・グループ室・視聴覚ブース・インターネット席の利用制限、新聞・新刊雑誌の閲覧制限等（長時間滞在を避けていただくため）
- (7) 返却ポストの開館中の開放（6月末まで）
- (8) 入館人数の制限
- (9) おはなし会、催事の中止
- (10) ブックスタート実施方法の簡易化（読み聞かせ省略）
- (11) ボランティア活動の休止

4 段階的な利用制限の緩和

- (1) 6月18日（木）～
 - ・新聞・新刊雑誌の閲覧可能（出入口を一か所として消毒液設置）
 - ・インターネット席・データベース席の利用再開
- (2) 7月2日（木）～
 - 額田図書館、地域図書室は7月1日（水）～
 - ・閲覧席の一部利用再開（2階南、北西の閲覧席エリアの閉鎖は継続）
 - ・館内滞在時間を30分以内から1時間程度に緩和
- (3) 8月1日（土）～
 - ・研究個室、グループ室1の利用再開
- (4) 9月以降（予定）
 - ・2階閲覧席数の拡大（自習可能）
- (5) 10月以降（予定）
 - ・読み聞かせ活動やその他ボランティア活動、講座等の再開を検討中